

野菜生産額の飛躍を目指す

園芸メガ団地整備工事安全祈願祭



▲参加者全員で工事の無事完了を祈る

3カ年で整備を計画している園芸メガ団地の安全祈願祭を8月12日に能代市轟の建設予定地で開催しました。

安全祈願祭にはJ A、秋田県議会議長の能登祐一氏や行政、施工業者である株式会社サンワ興建の関係者を含む53名が参加し、無事故と工事の円滑な遂行による工期内完成を誓い合いました。

園芸メガ団地整備事業の完成により、野菜生産額の拡大を目指すとともに、『白神ねぎ』の生産および情報発信の拠点として、販売額10億円達成だけではなくその先の大規模な園芸主体の経営体の育成を計画しています。



会員自慢みょうがを大特価で販売

イベントを通じて旬のみょうがを堪能



▲大勢の購入客が殺到した袋詰め販売

旬の食材である「みょうが」をたくさんの人に食べてもらおうと、J A農産物直売所みょうが館で8月29日、『みょうがの袋詰め放題販売』を実施しました。

このイベントは毎年みょうがの収穫がピークを迎える時期に行われており、当日は300円で詰め放題と旬のみょうがを大特価で購入できるとして、店内は会員自慢のみょうがを目当てに開店直後から多くの来場者で賑わいました。

今後みょうが館では月に一回、旬の食材を利用した様々なイベントを開催していきます。



水田の転作による新たな産地へ

りんどう栽培講習会を開催



▲栽培方法の説明を受ける参加者

転作田を有効に活用ができ、高い収益性を確保できるりんどうの栽培講習会を、8月20日に山谷集会所で開催しました。

当日は、新規栽培希望者やJ A、農業技術センター職員など11名が参加して新規作付に向けた話し合いが行われました。産地である藤里の「白神りんどう」の栽培方法を例に挙げ担当者が説明をし、また、農業技術センター職員からは市の補助事業の説明がされました。栽培希望者からは、収穫方法や品種の特性など多くの質問がだされ、作付に向けて活発な意見が交わされました。



今月のあなたの運勢 (2014年10月)



牡羊座 (3・21～4・19) あれもこれも挑戦したくなりそう。でも、取捨がつかなくなる可能性大なので、一つに絞って。芸術方面が吉